太田市立九合小学校　　学校通信　NO. 12　平成29年12月21日(木)

「大志」

大きな志をもとうよ。そして、大きな夢の実現に向かって努力しようよ。

「人権週間が終わって・・・」

人権週間に、全校で人権について取り組んでもらいました。以下、人権集会で各学年代表として読んでくれた作文や「人権講話（校長の話）」を受けて書いてくれた作文。さらに、人権標語とポスターの学校代表。そして、４年生の「音楽発表会」での作文を掲載します。

1年生

「にんたまらんたろう」を見て

わたしは、にんたまらんたろうを見てあたたかいこころが、人にやさしくしんせつにすることだとおもいました。ですから、ともだちにやさしく「だいじょうぶ。」と、はなしだりいっしょに手つだったりしたいとおもいます。もしも、わたしがこまっていてともだちにたすけてもらったら、「ありがとう。」とおれいをいいたいとおもいました。

名前（おばらさき）

2年生

「こぎつねコンとこだぬきポン」を見て

ぼくは二のビデオを見てコンはポンのかぞくの赤ちゃんをなきやませてえらいと思います。ポンは、ほかの人のところのおとうさんのことをしんぱいしておいしゃさんをすぐつれてきて、えらいと思います。二人がこれをしたから、きつねとたぬきはわるいやつじゃないというのがわかったんだと思います。人をうたがうことはだめだとわかりました。友だちはだいじだと思いました。さいごにかぞくがなかよしになったのは、二人が友たちを見つけたからだと思います。

名前（金子たか）

3年生

「ありったけの勇気」を見て

ぼくは「ありったけの勇気」を見てこんないじめにあいたくないと思いました。たとえば、くつをぬらされたり、うわばきをかくされたり、なんてひどいことをやったのだと思いました。それにドラマにでてきた直子ちゃんもさいしょは勇気がだせなかったけど、さい後にとても勇気がだせていて、すごいなと思いました。そして、みきちゃんをかばってあげた由実ちゃんもとても勇気があるなと思いました。ぼくもぜったいにいじめをこれからもしないし、いじめを見つけたら注意します。注意してぎゃくにしかえしされたら先生たちに相談します。そして、泣いている子がいたら「どうしたの？」と声をかけます。さい後に三年一組だけでなくこの学校全員からいじめをなくして、とても明るいえ顔のある九合小学校にしたいです。

名前（三田いつき）

4年生

「わすれるもんか！」を見て

わたしは「わすれるもんか！」を見て目の不自由な人のことを考えました。目の不自由な人はまわりのけしきが見えなくてだれがなにをしているのかもわかりません。だけどそこで友達が教えてあげたりすると、まわりの様子がわかったりします。なにもしょうがいのない人もなにかしょうがいがある人もみんな生まれたときから人としてのけんりの人けんをもっているからわたしはしょうがいのある人とない人でさべつをしないで向きあっていけたらいいと思います。わたしは目の不自由な人だけでなく足の不自由な人や耳の不自由な人たちもたすけられたらいいと思います。

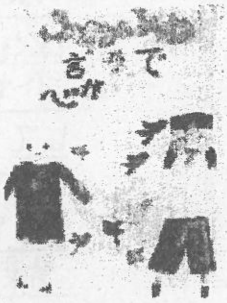
名前（関根晴華）

【人権標語】

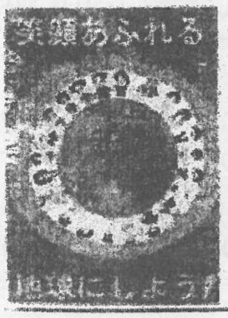
平等で　夢を持つのが　人間だ
5年　田島　朔

満開に　みんなで咲かそう　笑顔の花
6年　長谷川　莉子

【人権ポスター】



6年　本田水樹


笑顔あふれる
にしよう

5年　高田千恵子ハデ

5年生「アミーゴ　友だち」を見て

「一人一人ちが、た人間で良いんだ」私はこのDVDを見た後思いました。

ブラジルから引っこしてきたはやとさん、とてもサッカーが上手でたつやさん達と同じサッカーのグループに入りましたが、ねんざをしてしまいサッカーの大会に出られませんでした。たつやさん達は、はやとさんが応えんしていた事を忘れはやとさんは一人になってしまいました。けれどはやとさんには「アミーゴ」という犬の友達がいました。そこにたつやさんの妹なずなさんがアミーゴに心を開いて毎日遊びます。アミーゴは最高の友達だと思います。しかし、そのアミーゴはだいすけさんがあやまってひいてしまいました。そのショックになずなさんはしゃべりだします。アミーゴはすごいと思いました。アミーゴという意味はしんあいなる友達、犬のアミーゴもそうみんなアミーゴです。一人一人良い所がありそして心からしんあいのある人は私の友達にもいます。アミーゴはいい言葉だと思います。はやとさんはひっこしてきてまだ日は立たないけれどアミーゴができてすごいと思います。私がはやとさんだったら、そんなに早くアミーゴは作れないだろうなと思います。

私はこれから、一人一人ちがった良い所をさがしていけたらいいなと思いました。

名前（高橋　夢明　）

29.11.20

6年生「めぐみ」を見て

12才という幼なさでぎせいになっためぐみさん。北朝鮮の拉致問題は、私たち日本人の自由、人権をうばう、悲しい問題だと思いました。横田さん一家は、めぐみさんが生まれてからずっと思い続けてきた、人並みの幸福でいいから、幸せになりたいというその思いは、くだけてしまいました。十七名という他の拉致されてしまった多くの人を助けようと努力する日々が始まり、それは、いまでも続いています。めぐみさんを愛し、めぐみさんに人並みの幸福でいいからと、幸せをたくさん捧げていた両親の悲しい思いや、辛い思い、拉致問題の怖さなどがとても伝わってきて、私も思わず涙がでてきました。私は、拉致問題だけではなく、戦争なども、絶対あってはいけないと思います。もちろん学校でも、人の人権を犯すこともやってはいけないと思います。相手の気持ちを考えて、優しく誰にでも平等に接すること、世の中の役に立てるようになりたいと思います。

そして、この拉致問題をけして忘れないようにし、次の世代に語りつがなければいけないと思いました。

名前（大川りるは　）

【人権講話】

「校長先生の人けんのお話を聞いて。」

早川　まい

人権は、人々だれもがもっているけれど傷つけられたりすると、人々の人権幸せはその人に取られていってしまうことが分かりました。

それに、人をけったりなぐったりすると私も人々の人権をうばってしまう事をさいかくにんする事ができました。

私は、校長先生の話を聞いて、一番に思ったのが、

「みんなちがってみんないい」

です。私は

「みんなちがうけれどみんないい所があるな。」

と思い返してみて思いました。

「校長先生の人けんのお話を聞いて」

黒島好花

わたしは、校長先生の「人けん」の話を聞いて、自分は、人になぐったり、けったりしたことがあるか、わかりませんが、これからは、人の幸せをじゃまをせず人のいいことをいっぱいいって、いしきして生活をしたいです。

校長先生がいってくれてわかりました。そのことは、他の人も、自分も、みんなもぜんいん幸せでいきるために生まれたことをしったとき、わたしは、自分の幸せではなくこれからは、人のために生きたいなと思いました。

【音楽発表会】

4年 2組（ 10 ） 名前 鉼てつぺい

これまでの音楽はれんしゅうをつみかさて「口を大きくあけなさい」といわれたりしてみんなで、いっしょうけんめいやって「大切なもの」や「クラピングファンタジー」をやってまちがえたりしてもみんながささえてくれたからこんどは友だちがまちがえてもぼくがささえていきます。

いいね！

本番は、みんなの心を一人一人が心をつなげ、一人はみんなのためにみんなは一人のためにが、一人一人できたと思います。

すごい！ここに感動しました

ぼくは真中でとてもきんちょうしたけど田中先生があいずやいっしょにくちぱくでうたってくれたりしてきんちょうをほぐしてくれてぼくはこの音楽発表会にでてよかったと思いました。これからも音楽のべんきょうをおしえてください。

うれしいです！
これからもよろしくね！